

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 高齢者の暮らしを支える訪問介護の課題等について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2025年に、団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者になります。小平市では、世帯主が65歳以上の世帯数のうち、一人暮らしの世帯は37%、高齢者夫婦のみの世帯は、33.3%になる想定です。介護ニーズが一層高まる一方で、人材不足が大きな課題となっています。自分らしい生活を維持していくためには、必要な時に適切な支援を受けられることが必要です。また人材不足に加え、3年ごとの介護報酬改定による訪問介護の基本報酬の引き下げや、加算によって報酬が上がる仕組みになっているため、小さい事業所には事務負担が大きく、都内の介護事業所の倒産は過去最多となっています。このままでは、利用者が必要な介護を選べなくなってしまいます。また、各地域包括支援センターでは、人手不足はもちろん、ケアプラン作成に加え、地域活動や相談などが増え、業務が煩雑になっていることが課題となっています。小平の今後の訪問介護を支えていくため、以下質問します。

- 厚生労働省は、2026年に約240万人の介護職員数が必要となり、2022年度比で25万人不足すると推計しています。小平市での推計と訪問介護についての課題を把握していますか。
- 介護職員不足に対する対策として、市として行っていることと、今後行う予定のことがあればお示しください。
- 生活サポーター養成講座の過去5年の参加者数と実際に介護職に従事している人数がわかればお示しください。
- 小平市介護予防・日常生活支援総合事業の訪問介護サービスの現在の利用者数は、そのうち訪問緩和型の利用者はどれぐらいいますか。
- 高齢者に関する総合相談支援を行う、地域包括支援センターは、ケアプランはもちろん、多くの相談に対応しています。例えば、8050問題やヤングケアラー支援、高齢者のペットの対応などです。業務整理と改善のためにガイドラインが必要と考えますが、ご見解は。
- 市の地域包括支援センターの設置区域の考え方をお示しください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2024年 8月 26日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24

— (/)